

## A かぞくでかくにん、きんきゆう時のれんらく方法

災害にそなえて、きんきゆう時のれんらく方法を  
かぞくでかくにんしておくことが大切です。東日本  
大しんさいの時のような大きいじしんが発生した  
場合は、特にあんぴのかくにんが必要になります。  
また、ひとりで行動している時に、なんらかのりゆ  
うでいしき不明になる場合も考えられます。

それらにそなえ、以下に示す「ぼうさいれんらく  
「らん表」を作っておくとよいでしょう。

(1) かぞくのことを書いた「わが家のぼうさいれん  
らく「らん表」

・けつえき型、こねまでかかったこと  
のある病気やアレルギーなどの情報

は、けがなどをして救命そちをすばやく行うた  
めの大切な情報となります。また、いち早くれ  
んらくがとれるようきんきゆうれんらく先を記



入しておくことも大切です。

※「わが家のぼうさいれんらく「らん表」を記入  
し持ち歩くことで、いざという時に役立ちます。  
ただし、入れておく場所を工夫する必要があります。  
ます。けいたい電話の番号など、個人情報を書  
かれているので、なくさないよう十分注意して  
ください。

(2) さいがい時のれんらく手段

・大きなさいがいが発生すると、電話回線がパン  
クしてしまい、れんらくがとれない状況になる  
場合があります。その時「さいがい伝言タイヤ  
ル（177）」を利用する方法があります。これ  
はさいがい発生時にのみ使用できるサービスで、  
どのように使用するのか一度チェックしておく  
といいでしょ。

わが<sup>や</sup>家の<sup>い</sup>ぼうさい<sup>ひょう</sup>れんらくーらん表

(〒)				あなた	あなたとの関係
					(ふりがな) 名前前
					たんじょう日
					(RH) 血液型
					これまでかかったことのある病気など (アレルギーなど)
					れんらく先 (けいたい電話・きんむ先) ・学校など)